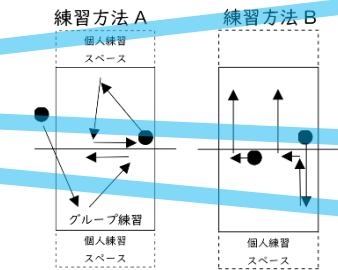


西濃教育事務所  
「例えばこんな授業」シリーズ  
中・保健体育編

本単元の主な学習活動
第1時 オリエンテーション ・試しのゲーム
第2～3時 ・基底技能の向上をねらいとした練習 ・練習ゲーム
第4～6時 ・チームで球筋を整えながら行う練習 ・練習ゲーム
第7～9時 ・ゲーム分析 ・練習ゲーム
第10～11時 ・チームの課題解決に向けた練習 ・練習ゲーム
第12～13時(リーグ戦) ・チームの作戦に沿ったゲーム展開で勝利を目指すリーグ戦
第14時(反省会) ・単元で身に付けた力や、よいと感じた学び方などについて振り返る。

学年・単元名	第3学年・バレーボール
単元のねらい	役割に応じたボール操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をできるようにする。(知識及び技能) 攻めや守りで自分やチームの課題を発見し、その合理的な解決に向けて、ゲーム記録をもとにプレイを分析しながら運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。(思考力・判断力・表現力等) バレーボールに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについて話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保できるようにする。(学びに向かう力、人間性等)
本時のねらい	(思考力・判断力・表現力等) 根拠をもとに自分やチームの課題を設定し、その解決に向けて行う練習方法やできばえ、改善点等について伝えることができる。

学習活動	留意事項
<p>1 授業前学習【全体】【チーム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム対抗でアクティブチャイルドプログラムを行う。</li> </ul> <p>2 基底技能向上ドリル【個人・ペア・チーム】</p> <p>3 本時の課題を理解する。【全体・チーム】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">グループ課題の解決のために、練習する目的や根拠をはっきりさせて活動しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーグ戦で自分たちの力を発揮したゲームができるように、チームと個人の本時目指す姿を確認するとともに、練習の場所や方法について、安全面にも留意しながら進められるように練習時の約束を確認する。</li> </ul> <p>&lt;チーム計画会(ICT利用)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム課題を確認するとともに、個人課題について交流する。</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">これまでのデータからスパイク成功率を高めたい。1本目のセッターに向けてパスをする球の軌道を出ることを大切にすればうまくいきそう。そのために、自分はボールの下に素早く動くことに気を付けて練習やゲームをするぞ。</p> <p>4 チーム練習①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちのコートで課題の解決に向けた練習を行う。</li> </ul> <p>練習方法 A: 自分のコート内でできる練習(3本目はキャッチ)</p> <p>練習方法 B: スパイク練習</p> <p>練習方法 C: サーブ練習</p> <p>コート後ろのスペースを使い、基底技能を高める練習 等</p> <p>5 チーム練習②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に優しいサーブを打ってもらい、攻防を行う。</li> <li>・3本連続でサーブを打ったらサーブを打つチームを交代する。</li> <li>・ローテーションは自分のチームの課題に応じて行う。</li> </ul> <p>6 練習ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム練習で気を付けたプレイを意識しながらゲームを行う。</li> <li>・よい動きがあった場合には互いに認め合う。</li> <li>・ゲーム記録(接球者・プレイの種類・結果)を取りながらゲームを行う。</li> </ul> <p>7 チーム反省会(ICT利用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲーム記録を共有し、目指す姿に近づけたか振り返る。</li> </ul> <p>8 全体反省会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の成果やリーグ戦に向けた課題について、根拠をもとにして話す。</li> <li>・仲間の言動で自分やチームの動きが変わったことについて話す。</li> </ul>	<p>留意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心と体の開放ができるように、教師も積極的に参加したり、雰囲気盛り上げる声をかけたりする。</li> <li>・ゲーム記録や目指すゲームの様相から考えられるチーム課題の一例を紹介し、そのために必要なことは何か提示する。</li> <li>・チームや個人で設定した課題や練習方法がゲーム記録に基づいているか、また、目指すゲームの様相になっているか確認する。</li> <li>・負けが続いているチームを中心に、目指す姿に近づいているか確認させながら、アドバイスしたり認めたりする。</li> <li>・個人練習をしている生徒には、技術ポイントを伝えたり、認め励ましながら一緒に練習したりするなど、当該生徒が少しでも安心してチーム練習に入れるようにする。</li> <li>・課題の解決に向かう動きができたときには、周りのチームにも聞こえるように認め、さらなる意欲につなげる。</li> <li>・成果があまり見られないチームには、課題解決に近づけるよう、練習方法や練習内容を変更するように提案する。</li> <li>・課題の解決に向かう動きが高められるように、意図したところにボールを投げ入れたり、キープレイヤーになる生徒が動くように声をかけたりする。</li> <li>・ゲーム記録の変化から成長を捉えているチームや、仲間の動きの変化がチームの成長につながった例を位置付け、認める。</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">【思考・判断・表現】 根拠をもとに自分やチームの課題を設定し、その解決に向けて行う練習方法や改善点を伝えていく。(記録に残す評価)&lt;観察、記述内容&gt;</p>



S1: 前時よりスパイク成功率が上がった。セッターの僕の所に山なりのボールでパスしてくれた、S2さんのボールがすごくやりやすかった。

S2: 私は、素早くボールの下に動くことに気を付けた。そしたら、ボールを触る時に余裕が生まれて、うまくコントロールできた。

S1: 次回はリーグ戦だけど、今日の練習で気を付けたみたいに1本目のボールを丁寧にコントロールして、もっとスパイクを交えたゲームにしよう。